



2026年5月1日

各 位

会 社 名 株式会社 unerry
代 表 者 代表取締役社長 執行役員 CEO 内山 英俊
(コード番号：5034 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役 執行役員 CFO コーポレート部長 斎藤 泰志
(TEL 03-6823-8234)

(開示事項の経過) 株式会社ブログウォッチャーの株式の取得（子会社化）完了、資金の借入れ及び当社子会社の本社移転に関するお知らせ

当社は、2026年2月6日付「株式会社ブログウォッチャーの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」で公表しましたとおり、本日、株式会社ブログウォッチャー（以下、ブログウォッチャー社という）の全株式を取得し、完全子会社化いたしました。また、本日開催の当社取締役会において、本件株式取得に係る資金の充当等を目的とした資金の借入れを、ブログウォッチャー社において同社の本社移転を、それぞれ決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 子会社の株式取得（完全子会社化）の完了について

本日付で取得を完了した子会社の詳細は、以下のとおりです。

(1) 異動する子会社（ブログウォッチャー社）の概要

(1) 名称	株式会社ブログウォッチャー
(2) 所在地	東京都港区芝浦三丁目12番7号 住友不動産田町ビル5F
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 新村 生
(4) 事業内容	1. 位置情報データプラットフォーム「プロファイルパスポート」の開発・提供及び運用 2. 位置情報ビッグデータを活用したマーケティング支援、分析及び広告配信ソリューションの提供
(5) 資本金	50百万円
(6) 設立年月日	2007年4月2日
(7) 大株主及び持株比率	株式会社リクルート 80% 株式会社電通グループ 20%

(2) 株式取得日

2026年5月1日

(3) 取得株式数、取得価額及び取得後の所有株式の状況

(1) 取得株式数	1,000株 (議決権の数:1,000個)
(2) 取得価額	株式会社ログウォッチャーの普通株式 748百万円 デューデリジェンス費用等(概算額) 7百万円 合計(概算額) 755百万円 取得価額については、外部の専門家による株価算定に基づく評価結果、外部の弁護士および公認会計士による法務・財務に関する調査の結果等を総合的に勘案した上で、当事者間の協議を経て決定しております。スタンドアローンでの収益構造を前提に算出しております*。なお、実際の支払金額については、本株式取得の完了日現在の正味運転資本の額や純有利子負債等の状況に基づき、一般的な価格調整を行っております。
(3) 異動後の所有株式数	1,000株 (議決権の数:1,000個) (議決権所有割合:100%)

※ 2027年3月期は単体ベースで損失計上を見込んでおります。当社グループとしては、継続的な連結ベースでの成長実現に取り組んでまいります。

2. 資金の借入れについて

本日開催の取締役会において決議いたしました資金の借入れの概要は、下記のとおりです。

(1) 資金の借入れの目的

前記「1. 子会社の株式取得(完全子会社化)の完了について」に記載の株式取得に係る資金の一部に充当するとともに、今後の事業拡大に向けた機動的な運転資金の確保及び財務基盤の安定化を図ることを目的として金融機関より有利子負債の借入れを実施するものであります。

(2) 借入れの概要

(1) 借入先	株式会社三井住友銀行
(2) 借入金額	7.5億円
(3) 借入金利	基準金利+スプレッド
(4) 借入実行日	2026年5月1日
(5) 借入期間	2年
(6) 担保	ログウォッチャー社株式

3. 当社子会社の移転について

本日、ログウォッチャー社において決定いたしました本社移転の概要は、以下のとおりです。

(1) 移転の理由

グループ拠点集約による業務効率の向上、及びグループ各社間のコミュニケーション活性化によるシ

ナジー創出を図るためであります。

(2) 移転予定時期

2026年5月11日

(3) 移転予定先

東京都千代田区内幸町2-1-6 日比谷パークフロント 19F

4. 今後の見通し

本件（ブログウォッチャー社の完全子会社化、資金の借入れ及び同社の本社移転）に伴い、ブログウォッチャー社は当社の2026年6月期末より連結子会社となる予定です。これに伴い発生するのれんについては、2026年6月末に資産計上される見込みです。これら一連の事象が当社の2026年6月期連結業績に与える影響は軽微であります。

なお、会計上のみなし取得日は2026年6月末であります。当社（6月決算）とブログウォッチャー社（3月決算）の決算期が異なることから、当社の2027年6月期第2四半期より同社の損益を連結損益計算書に反映する予定であり、同期よりのれん償却費を計上する見込みです。本件に伴い発生するのれんの金額及びその償却期間については、現在精査中ではありますが、現時点における概算に基づき、当該のれんに係る償却費用は概算で年間1億円程度を見込んでおります。

以上